



Weekly Report

第2138回例会 2016年7月27日 国際ロータリー第2580地区
2016~17年度RI会長 ションF.ジャーム 2580地区多摩分区ガバナー 上山 昭治

第45代クラブ会長
内野 均

東京武蔵村山 RC テーマ 「一期一会・親睦こそクラブの活力源」 友人を作り充実したロータリーライフを

本日の例会

イニシエーションスピーチ
宮崎 正巳 会員
高山 晃一 会員

2016～17年度RIテーマ



人類に
奉仕する
ロータリー

次回の例会

全員クラブ協議会

司会 佐藤 貢 会場運営委員長

点鐘 内野 均 会長

出席報告

斉唱

奉仕の理想
ソングリーダー
比留間 一義 会員



○出席免除会員
榎本 昭 会員
木内 敬三九 会員
宮崎 恒夫 会員



来客紹介 内野 均 会長

会務報告 内野 均 会長

- 石川 彌八郎 様 (ガバナー補佐・東京福生RC)
- 加羽澤 光輝 様 (分区幹事・東京福生RC)



- 金子 哲男 様 (東京東村山RC会長)
- 北久保 隆一 様 (東京東村山RC幹事)



- 峰岸 喬 様 (武蔵村山市商工会青年部部长)
- 遠田 祐史 様 (武蔵村山市納涼花火大会実行委員長)



○ガバナー公式訪問に関する書類
が届いています。

○青少年奉仕情報 第18号
(2016年7月19日発行)
が届いています。

○ハイライトよねやま196が届
いています。

○第2回多摩分区連絡会の案内
8月24日(水) 16:00～平成の間
当クラブホストです。
お手伝い等については後日お願い致します。



幹事報告 嶋田 哲男 幹事

○例会臨時変更
年間変更の案内です。
メーカーに行かれる方は
先方へお問合せ下さい。
・東京城北RC、
板橋セントラルRC、
東京武蔵野RC



○地区青少年奉仕委員会 田中 伸彦 副委員長
地区職場体験インターシップの受け入れ企業を募集中です。本日メールボックスに申込書を入れさせて頂きました。直接ガバナー事務所へFAXかメールをお願いします。皆様のご協力をお願い致します。



○ゴルフ部 比留間 一義 部長
去年に引き続き今年も部長をやらせて頂きます比留間一義です。早速ですが、年会費を徴収させて頂きます。年会費は1万円。まだ入会していない方、興味のある方は是非お願い致します。今年も1年間、どうぞ宜しくお願い致します。



ニコニコBOX (篠原 幸宏 親睦委員)

- ☆石川彌八郎様(多摩分区ガバナー補佐)・加羽澤光輝様(多摩分区幹事)一年間よろしくお願い致します。
- ☆金子哲男様(東京東村山RC会長)・北久保隆一様(東京東村山RC幹事)石川ガバナー補佐、加羽澤様分区幹事には今年度何かとお世話になりますがどうぞよろしくお願い致します。東京武蔵村山RC内野均会長・嶋田哲男幹事を始め会員皆様及びご家族様のご健勝と東京武蔵村山RCの今後の更なるご繁栄をお祈り致します。
- ☆内野均会長・嶋田哲男幹事⇒多摩分区ガバナー補佐石川様、分区幹事加羽澤様 1年間ご指導お願い致します。東京東村山RC会長金子様、幹事北久保様1年間共に頑張りました。武蔵村山市商工会青年部部長峰岸様、納涼花火大会実行委員長遠田様ようこそいらっしゃいました。
- ☆比留間孝司会員⇒皆勤祝を頂きありがとうございます。
- ☆宮崎茂夫会員⇒石川分区ガバナー補佐、加羽澤分区幹事ようこそおいで下さいました。本年度よろしくお願いいたします。東村山RC金子会長、北久保幹事1年間今年も仲良くやりましょう。がんばって下さい。
- ☆野島征会員⇒石川ガバナー補佐、加羽澤分区幹事本日はようこそお出下さいました。本年度御指導宜しくお願います。東村山RC金子会長、北久保幹事今年度内野会長・嶋田幹事と仲良く願います。
- ☆倉内淳会員⇒石川ガバナー補佐、加羽澤分区幹事、東村山RC金子会長、北久保幹事本日はようこそ武蔵村山RCへいらっしゃいました。一年間ご指導よろしくお願い致します。峰岸さん、遠田さんいらっしゃいませ。花火大会がんばって下さい。
- ☆波多野晃夫会員⇒多摩分区ガバナー補佐石川様、分区幹事加羽澤様、東京東村山RC金子会長、そして幹事の北久保様ようこそいらっしゃいました。今年度1年間どうぞよろしくお願いいたします。
- ☆田中伸彦会員⇒石川ガバナー補佐、加羽澤分区幹事、東村山金子会長、北久保幹事ようこそいらっしゃいました。今年一年宜しくお願いします。青年部峰岸部長、遠田実行委員長花火大会がんばって下さい。

◆ 今回計 45,000円 累計208,000円

「44年間、よくもまあ…」



見延 壽昭 会員

村山RCは44年の歴史があり、私自身最初からの会員。初代ガバナーは鈴木達夫氏で、当時「会員は皆それぞれの組織の中で最終決断をしなければならない立場で、孤独な人間ばかりだから週1回は集まる余裕がほしい」と話していたことと、日産自動車の講堂で1,000人の動員をかけて行われた国際RCからの認証状伝達式「チャーターナイト」はクラブにとって一生に一回のことだったので印象深い。

RCの発祥は1905年、不況のシカゴで異なる職業の4名が、持ち回りで各々の事務所で開催を聞いたのがロータリーの名の由来。職業分類、地域で1業種1会員のシステムがRCの発展に寄与したと思う。

私自身、皆出席は今年で連続41回。初年度は1Mや地区大会などであっという間に過ぎてしまい、2年目で前年の行事を思い出しながら慣れる。3年目で余裕が出てRCとは何かという疑問が生じ、統計的に3年で退会する会員が圧倒的に多いようだが、3年でRCを理解できる筈がない。

毎週水曜日というリズムを体が覚えてしまえば皆出席は楽だし、分区地区のみならず、その気になれば世界中の名だたる会員と対等に交流が可能とも言える環境は貴重な財産なので、ぜひその機会を活用してほしい。

おしなべてRCの共通の悩みは人事。指名方式では軋轢が生じ、退会者が続出するという。年齢ではなく入会順に役職が決まる村山方式は良いシステムだと評価を受けた。

俗にいう「セントルイス宣言」が決議要覧から外されたり戻されたり、1989年まで会員は男性のみと記載があった決議事項が裁判を経て消滅したりといった変遷を、知っているのと知らないのでは大きな差があるので、勉強会が有効ではないか。

最近は We gerve (団体型) の奉仕が主流だが、RCの原点は I serve (職業奉仕) だと思う。世の中にはなくなる職業も新種の職業もあるので、会員増強は人数だけでなく、空きのある職業に目を向けて勧誘するのも必要ではないか。

44年は長くも短くもなかった。健康な限りRCの活動を続けていきたい。

